



武運長久を祈る出征旗(1941年)湯前まんが美術館所蔵(詳細は2ページへ⇒)

contents

○見どころ紹介⇒p1

- ・菊陽町図書館
- ・益城町交流情報センター
ミナテラス
- ・清和文楽館

○コレクション紹介⇒p2

- ・湯前まんが美術館

○博物館の仕事紹介⇒p2

- ・新聞博物館

○博物館紹介⇒p3～4

- ・熊本藤間生大
「希望の歴史学」記念館
- ・人吉城歴史館

○県内の企画・特別展示、
イベント一覧⇒p5～12

見どころ紹介 ～企画・特別展示、イベント～

菊陽町図書館

期間：2025年9月20日（土）～2025年11月30日（日）

開館時間/10：00～18：00（木曜日は20：00まで）

休館日/火曜日、第3水曜日

入館料/無料

📖 少女の夢の宝箱 『なかよし』 & 『りぼん』 70年の軌跡

雑誌『なかよし』と『りぼん』は1955年（昭和30年）の創刊から今年70周年を迎えました。現在では少女漫画雑誌としておなじみの両誌ですが、そのはじまりは絵物語や小説、グラビアなども掲載するバラエティ豊かな少女雑誌でした。

本展では、当館の少女雑誌コレクションの中から、昭和30年～40年代に発行されたものを中心に紹介し、創刊当時の歴史を振り返ります。また、特徴的な記事、ふろくなどもあわせて展示いたします。デザインの变化や雑誌の魅力を多角的に楽しんでいただける内容です。どうぞご覧ください。



益城町交流情報センター ミナテラス

期間：2025年11月22日（土）～2026年1月25日（日）

開館時間/8：30～17：00

休館日/月曜日（月曜日が祝日の場合は翌平日）、年末年始

入館料/無料

📖 令和7年度文化財企画展「第2次世界大戦終戦80年企画 戦争の時間旅行者」

益城町には、数多くの戦争戦跡をはじめとして、その痕跡を伝える遺構・遺物が残されています。人類の歴史を紐解くと、太古の昔から争いが絶えない悲しい事実と直面します。弥生時代、農耕社会が成熟し、ムラ対ムラ、ムラ連合対ムラ連合、クニ同士の戦いに始まり、現代では、国家同士が国境を越え、他の国々を巻き込んだ戦争にまで発展しています。今回の企画展では弥生・古墳時代の武器武具類をはじめ、戦国時代のいくさや、明治時代の西南戦争。日清・日露戦争から第2次世界大戦に至るまで益城町周辺に展開された「戦争」の足跡をたどります。

タイムトラベラー



砥川阿蘇神社奉納絵馬

清和文楽館

各イベント日は、下記を参照 ※お問合せ TEL0967-82-3001

📖 「第31回薪文楽」10月11日（開演17：00、終演20：00）

大川阿蘇神社農村舞台で「寿式三番叟」「傾城阿波の鳴門」「雪おんな」を上演します。

鑑賞料/6,000円（お弁当付）【要予約】

▼<https://t.livepocket.jp/e/rx8no>

📖 人形浄瑠璃清和文楽×ONE PIECE「超馴鹿船出冬桜」（開演13：30、終演15：30）

10月12日・11月23日・1月3日・2月22日・3月21日

熊本出身の尾田栄一郎氏が描く人気漫画「ONE PIECE」が人形浄瑠璃になりました。

鑑賞料/高校生以上3,500円、小中学生2,500円

▼<https://t.livepocket.jp/p/lkowm>

📖 古典演目（開演13：30、終演14：30）

「傾城阿波の鳴門」10月26日・11月9日 「肥後アマビエ戀歌異聞」12月14日

「神霊矢口渡」1月11・25日・2月8日 「絵本太功記」3月8・22日

鑑賞料/高校生以上2,000円、中学生1,500円、小学生1,000円

▼<https://t.livepocket.jp/p/lkowm>



コレクション紹介 【湯前まんが美術館】

武運長久を祈る出征旗（1941年）

那須良輔は1913年（大正2年）、球磨郡湯前村（現湯前町）に生まれました。戦前に児童漫画家としてデビューし、戦後は大手新聞や雑誌で連載を持つ「政治風刺漫画家」として活躍した人物です。政治家の腐敗や戦争協力を厳しく糾弾する作風は、良輔自身が日中戦争中に三度の召集を受けたことに影響されていると考えられます。

1941年7月、良輔は自身三度目の召集を受けました。当時良輔は28歳で、第一子が間もなく生まれるという時でした。そのため良輔は、男児の場合と女児の場合それぞれの名前を書き残して出征しました。

出征の際、良輔の友人が中心となって寄せ書きをした「出征旗」（戦地へ赴く兵士に贈られる日章旗）が贈られました。日本漫画家協会初代理事長を務めた近藤日出造や、「フクちゃん」で国民的人気を博した横山隆一といった昭和の人気漫画家の名前が多く見え、当時の風習とともに戦中の漫画界を知ることができる貴重な資料です。



施設紹介

湯前町出身の風刺漫画家・那須良輔の業績を保存・展示することを目的に、1992年に開館しました。那須良輔が生涯に描いた風刺漫画や風景画などを展示する常設展示室、現代のマンガ・アニメに関連する企画展を行う特別展示室を備え、幅広い日本のマンガ文化に触れることができます。

所在地/熊本県球磨郡湯前町1834番地1
TEL/0966-43-2050 FAX/0966-43-3373
開館時間/9:30～17:00
休館日/年中無休（年末年始除く）

入館料/高校生以上：300円、小・中学生：100円

※未就学児：無料 その他免除事項はホームページをご確認ください。
※特別展期間中は料金に変更になる場合があります。

仕事紹介 【新聞博物館】

新聞博物館の常設展示の目玉は、日本機械学会の機械遺産に認定された国産初の活字鋳造機や、1978年に東芝が開発した同じく国産初のワープロ、明治時代にフランスから輸入された機械がベースとなったマリノ二型輪転機など、新聞製作に実際に使われていた機器です。熊日で長年、製作業務に携わっていた館員がその使用方法などを詳しくガイドしています。子どもたちには特に、世界初の印刷機、グーテンベルク印刷機（複製）を使って活版印刷を体験するコーナーが人気です。

熊本ゆかりの言論人や新聞全般に関する資料の収集も行い、大学の研究者らの協力も得て分析し展示、他博物館にも貸し出すなど広く新聞を中心とした日本の近現代言論史の紹介、発信を行っています。

また、企画展や講演会、交流会も随時実施。現在は昭和100年記念として、昭和30、40年代の熊本市と県北地域の祭りや行事、商店街のにぎわいなどの写真と県内全域のスライド画像が観覧できる「懐かしいふるさとの人と街 昭和熊本写真展」を開催中です。併せて戦後80年を記念した企画コーナー「地方紙は終戦をどう受け止めたのか 80年前の社説とコラム」（いずれも9月30日まで）を開催しています。



常設展示場で新聞製作機器の説明する館員



企画展「懐かしいふるさとの人と街 昭和の熊本写真展」

施設紹介

新聞博物館は、熊本日日新聞社の創立45周年記念事業として1987年（昭和62年）に開館した日本最初の新聞博物館です。新聞紙面や資料、夏目漱石や小泉八雲、徳富蘇峰、池辺三山ら熊本ゆかりの言論人の紹介とともに、印刷機や活字鋳造機など新聞製作に使われた機器も展示。幕末から現代に至るまでの日本の新聞の歴史と社会の動きをたどることができます。

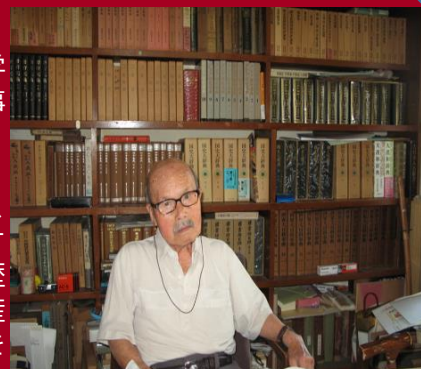
所在地/〒860-8506 熊本市中央区世安1-5-1
熊本日日新聞社本社2号館5階
TEL/096-361-3071 FAX/096-363-7854
開館時間/10:00～17:00（入館は16:30まで）
休館日/日曜、祝日、年末年始

熊本藤間生大「希望の歴史学」記念館

概要・特徴

藤間生大（1913年～2018年、元熊本学園大学教授）は、日本を代表する歴史学者・考古学者であり、古代日本から近代東アジアに至る歴史や思想の研究に従事してきました。東アジア史の視点から邪馬台国の謎に迫った『埋もれた金印』（1951年、岩波書店）は当時のベストセラーになっています。

市井の歴史学者として生涯を貫いた藤間生大は105歳でこの世を去りましたが、合志市の自宅には膨大な蔵書、未発表原稿や研究ノート、書簡や日記などが遺されました。2025年に遺族のご協力により旧宅を改修し、熊本藤間生大「希望の歴史学」記念館を開館しました。記念館では、藤間が熊本に遺した膨大な知的財産から歴史精神を学び、それを後世に引き継ぐために、貴重な史料の保存や公開を行っています。



生前の藤間生大先生

常設展示



書斎

藤間が実際に使用した書庫や書斎をご覧いただくことができます。約11平方メートルの書庫には、天井に達する高さの特注の書棚が四方の壁に備え付けられるとともに、中央にも4台並べられており、いずれも蔵書でいっぱいになっています。書斎の中央には、主に執筆に使った机が置かれ、周囲の書棚にも国史大辞典・諸橋大漢和辞典・中国の史書などが収められています。

旧宅の居間を改修した館内中央部はセミナールームとなっており、今後は熊本や東アジアの歴史に関するセミナーを開催するとともに、研究会などにご利用いただくことも可能です。



書庫

おすすめの収蔵品

藤間が所蔵していた約1万5千点にもおよぶ書籍のほか、読書メモや未公開の原稿、石母田正や網野善彦などとの往復書簡などを収蔵しています。これらは、藤間の執筆過程を知ることができるだけでなく、戦後歴史学のあり方、特に東アジアとの向き合い方を再考するうえで重要な史料と考えられます。

当館では、これらの史料を地域の人々に公開するとともに、東アジアや世界の研究者に活用してもらうために、国際日本文化研究センターの協力を得ながら、各史料のデジタルアーカイブの作成を進めているところです。

今後の予定について

2026年3月に国際日本文化研究センターとの共催で、館所蔵史料のデジタルアーカイブ公開に関するシンポジウムを開催する予定です。また、記念館を地域社会の教育活動の場として積極的に活用していきたいと考えています。



熊本藤間生大「希望の歴史学」記念館

〒861-1113 熊本県合志市栄2127番地164

（ひのくにふれあいセンターから徒歩2分）

TEL/090-8414-1940（山下敏文）

e-mail/ tomakumamoto@gmail.com

開館日/見学ご希望の方は、

電話またはメールにてお問い合わせください

入場料/無料



公式HP

博物館紹介 人吉城歴史館

概要・特徴

人吉城歴史館は、国指定史跡人吉城跡のガイダンス施設として、平成17年12月に開館しました。しかし、令和2年7月4日の豪雨により被災し、休館が続いていましたが、令和7年7月11日にリニューアルオープンしました。

施設内では、大画面シアター映像、模型パズルにより、人吉城跡の構造や特徴を学べるほか、約700年にわたり人吉球磨地域の領主であった相良氏の歴史などを中心に提供し、「見て、触って、体感する」ことで来館者の興味と理解を深める展示となっています。また、当館は、災害により浸水を受けた教訓から、季節により、常設展示・体験展示・企画展示として、収蔵品の展示を行うようにしています。



歴史絵巻ギャラリー

常設展示

展示室では、大画面複合シアターやパネル、各種体験展示、文化財のデジタルアーカイブなどで、人吉城跡や相良家の歴史を解説しています。石垣パズルや人吉城大絵図パズル、刀持ち上げ体験など様々な体験展示のほか、令和2年7月豪雨の記憶の継承として水害からの復興を伝えるコーナーもあります。

また、相良家の重臣の屋敷地にあたる場所から、発掘調査により発見された「謎の地下遺構」は直接見学することができ、来館者の興味と理解を深めます。



発見と体感の人吉ヒストリーホール



石垣の「石積み体験」パズル



謎の地下室

おすすめの収蔵品

人吉城は別名「織月城」と呼ばれます。初代相良長頼が人吉城の築城を始めた際、三日月文様のある「霊石」が出土したことから、人吉城を「三日月城」「織月城」と呼ぶようになったと伝えられています。

この「霊石」は人吉城の本丸などで大切に保管され、現在まで継承されてきた人吉城のシンボルです。

※出水期（6月～9月）はレプリカ展示となります。



織月石

今後の予定について

令和7年10月3日（金）から令和7年12月21日（日）まで、秋季企画展として「おかえり、ふるさとの宝物展－被災文化財の修復と軌跡－」を開催します。

令和2年7月豪雨災害では、地域の誇りと宝である多くの文化財が被災しましたが、その修理が完了した文化財を展示します。

人吉城歴史館

〒868-0051 熊本県人吉市麓町18番地4 TEL/0966-22-2324 FAX/0966-22-2134

開館時間/午前9時から午後5時まで（入館時間は午後4時30分まで）

休館日/毎週火曜日（当日が祝日の場合はその翌日）、年末・年始（12月29日から1月3日まで）

観覧料/一般330円、高校生以下無料 ※団体（20人以上）1人につき220円



公式HP

展示・イベントのご案内

県央

施設名	展示			イベント		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
① 熊本県立美術館 熊本市中央区二の丸2番 ☎096-352-2111 開館時間／9：30～17：15（入館は16：45まで） 休館日／月曜日（祝日の場合はその翌平日） 年末年始 ※特別展は展覧会ごとに料金が異なります	9/30～11/24 特別展「松井文庫創立40周年記念 文武に生きた筆頭家老・松井家ただいま参上！ 武家の嗜み、そして忠義」 一般：280円 大学生：170円 高校生以下：無料			2/20～3/15 細川・美術館コレクションⅢ 一般・大学生：1,000円 高校生以下：無料		
② くまもと文学・歴史館 熊本市中央区出水2丁目5番1号 ☎096-384-5000 開館時間／9：30～17：15 休館日／火曜日（祝日の場合はその翌平日） 毎月最終金曜日 特別整理期間（12月10日～15日） 年末年始 入館料／無料	10/3～11/16 お姫さまのひみつー顕光院 益姫と砂取細川邸へー 無料 1/23～3/8 神風連の事件簿ー150年目にひらく士族決起の記録ー			無料		
③ 熊本博物館 熊本市中央区古京町3-2 ☎096-324-3500 開館時間／9：00～17：00（入館は16：30まで） 休館日／月曜日（祝日の場合はその翌平日） 年末年始 入館料／一般400円、高校・大学生300円 小・中学生200円 ※特別展は料金が異なります ※熊本市内の小中学生は無料	10/4～11/30 あなたのそばにエイリアン！？ 身近な外来生物 一般：1,000円 12/2～2/15 冬季特別展「八雲とセツ 家族の物語」 12/13 13：00～16：00 無料 冬季特別展関連講演会			入館料のみ		
④ 熊本市現代美術館 熊本市中央区上通町2番3号 びふれす熊日会館3階 ☎096-278-7500 開館時間／10：00～20：00 （有料展覧会入場は19：30まで） 休館日／火曜日（祝日の場合はその翌平日） 年末年始 入館料／入館無料 企画展示室のみ有料 （展覧会ごとに料金が異なる） ※中学生以下無料 ※各種障害者手帳をご掲示の方と その付き添い1名は無料	10/5～12/14 遠山昇司展 収蔵庫の鳥たち 一般：1,300円 シニア（65歳以上）：1,000円 学生：800円 中学生以下：無料 10/25～1/12 GⅢ-Vol.162 しまうちみか「茫茫」 無料 1/4～3/8 漫画家生活30周年 こうの史代展 鳥がとび、ウサギもはねて、花ゆれて、走ってこけて、長い道のり 無料 1/15～3/15 GⅢ-Vol.163 CAMKコレクション こうの史代セクション（仮） 3/22～4/5 第37回 熊本市市民美術展 熊本アートパレート 1/18～3/9 葉祥栄再訪 熊本展 未定			無料		

施設名	10月	11月	12月	1月	2月	3月
⑤ 肥後の里山ギャラリー 熊本市中央区練兵町1番地 肥後銀行本店1階 ☎096-326-7800 開館時間／9：30～16：30 休館日／日曜日、祝日、年末年始 展示替え期間中の土曜日 入館料／無料	10/1～11/15 KFG創立10周年記念 肥後銀行・鹿児島銀行コレクション展 響きあう美		無料			
			12/1～1/31 茶道 肥後古流の400年展		無料	
			無料	2/24～4/4 熊本の偉人肖像画100人展		
		11/22 13：30～15：00 無料 里山ギャラリー歴史・文化講座 肥後古流の400年				
	2/7 13：30～15：00 無料 里山ギャラリー講座 永青文庫研究の最前線 細川キリシタン群像					
			2/14 13：30～15：00 無料 里山ギャラリー講座 永青文庫研究の最前線 近世後期熊本藩の椎茸生産と“茸山騒動”			
⑥ 新聞博物館 熊本市中央区世安1丁目5番1号 熊本日日新聞社2号館5階 ☎096-361-3071 開館時間／10：00～17：00 （入館は16：30まで） 休館日／日曜日、祝日、年末年始 入館料／無料				1/13～2/3 全国主要紙の新年号展		無料
		2/7～2/28 熊日フォト・サークル月例写真コンテスト入賞作品展				
⑦ 熊本国際民藝館 熊本市北区龍田1丁目5-2 ☎096-338-7504 開館時間／10：00～16：00 休館日／4月、8月、12月 上記以外の月の月曜日 （祝日の場合はその翌平日）、年始 入館料／一般500円、高校・大学生300円 小・中学生無料	9/2～11/30 民藝を使う その2 食		一般：500円 高校・大学生：300円 小・中学生：無料			
		一般：500円 高校・大学生：300円 小・中学生：無料	1/6～3/29 民藝を使う その3 住			
⑧ 熊本市 田原坂西南戦争資料館 熊本市北区植木町豊岡858番地1 ☎096-272-4982 開館時間／9：00～17：00（入館は16：30まで） 休館日／年末年始 入館料／一般300円、小・中学生100円		4/28～3/31 熊本城コーナー 見た、描いた、「焼出舎」の錦絵				入館料のみ
		7/15～未定 西南戦争の錦絵 その実と虚		無料		

展示・イベントのご案内

県央

展示

イベント

施設名	10月	11月	12月	1月	2月	3月
⑨ 島田美術館 熊本市西区島崎4-5-28 ☎096-352-4597 開館時間／10：00～17：00 （入館は16：30まで） 休館日／火曜日、第2第4水曜日、年末年始 入館料／一般700円、高校・大学生400円 小・中学生200円 	9/11～12/22 安南茶碗、海をわたる			一般：700円 高校・大学生：400円 小・中学生：100円		
⑩ 益城町交流情報センター ミナテラス 上益城郡益城町木山236 ☎096-286-3337 開館時間／8：30～17：00 休館日／月曜日（祝日の場合はその翌平日） 入館料／無料 	無料			11/22～1/25 令和7年度文化財企画展 「第2次世界大戦終戦80年企画 戦争の時間旅行者」 タイムトラベラー 11/22 9：00～12：00 無料 企画展ギャラリートーク① 12/14 9：00～14：00 無料 企画展ギャラリートーク②		
⑪ 御船町恐竜博物館 上益城郡御船町大字御船995-6 ☎096-282-4051 開館時間／9：00～17：00（入館は16：30まで） 休館日／月曜日（祝日の場合はその翌平日） 年末年始 入館料／一般500円、高校・大学生300円 小・中学生200円 	パレオプログラム、アドベンチャー 毎月第3日曜日または第4日曜日 ①10：00～11：30 ②13：30～15：00 詳細はHP			わくわく体験教室 毎月第2土曜日と第4土曜日 ①10：00 ②13：00 ③15：00 詳細はHP		
⑫ 清和文楽館 上益城郡山都町大平152 ☎0967-82-3001 開館時間／9：00～16：30 休館日／火曜日、年末年始 入館料／[見学]高校生以上600円 小・中学生300円 [公演鑑賞]高校生以上2,000円 中学生1,500円 小学生1,000円 	10/11 17：00～20：00 6,000円 詳細はHP 第31回薪文楽			12/14 13：30～14：30 2,000円 詳細はHP 清和文楽『肥後アマビエ戀歌異聞』 人形浄瑠璃清和文楽×ONE PIECE『超駟鹿船出冬桜』 10/12、11/23、1/3、2/22、3/21（13：30～15：30）3,500円 詳細はHP 清和文楽『傾城阿波の鳴門』 10/26、11/9（13：30～14：30）2,000円 詳細はHP 清和文楽『神霊矢口渡』 1/11、1/25（13：30～14：30）2,000円 詳細はHP 清和文楽『絵本太功記』 2/8、3/8、3/22（13：30～14：30）2,000円 詳細はHP		

施設名	10月	11月	12月	1月	2月	3月
⑬ 宇城市不知火美術館 宇城市不知火町高良2352 ☎0964-32-6222 開館時間／9：00～18：00 （土曜日は21：00まで） 休館日／年中無休 ※展示室は展示入替日および メンテナンス日に閉室 入館料／一般300円、高校・大学生200円 中学生以下無料	10/7～10/13 熊彩画展	無料				
	10/15～10/19 地図にのっていないばしょ2		無料			
	10/21～10/26 令和7年度 宇城市民文化祭「絵画展」			無料		
	10/28～11/3 令和7年度 宇城市民文化祭「書・短歌・写真集」				無料	
	11/5～11/9 令和7年度 宇城市民文化祭「作品展」			無料		
	11/11～11/16 令和7年度 宇城小中学校絵画展／宇城地区科学研究物展示会				無料	
	11/18～11/23 第21回UKI美展	無料				
	11/25～11/30 第18回 宇城市読書感想画コンクール				無料	
	12/6～1/28 【冬の企画展】PERMANENT MODERN 有田正博の眼				一般：300円 高校・大学生：200円 中学生以下：無料	
		2/3～2/15 マナブ間部記念 宇城市児童・生徒絵画作品展	無料			
	2/17～2/23 【展示室1】令和7年度 宇城中学校工作展 【展示室2】三角西港PORTRAIT Smile on me				無料	
	3/10～3/15 吉田友花による不思議な世界～旅するクマ+異世界から～	無料				
		3/17～3/22 第14回宇城地区合同日本習字作品展	無料			
		3/24～3/29 GOMAFURECORD&DolphinEyes EXHIBITION	無料			
⑭ 熊本県博物館 ネットワークセンター 宇城市松橋町豊福1695 ☎0964-34-3301 開館時間／9：00～17：00 休館日／月曜日（祝日の場合はその翌平日） 年末年始 入館料／無料	6/24～12/21 花をよ～く見てみよう	無料				
		1/6～3/15 ちょっと昔のくらし探検	無料			
	3/24～8/2 収蔵品展 受け継がれてきた たからもの	無料				
	11/2 10：00～12：00 無料（※要申込） 海岸の砂から砂鉄を探そう					
	1/25 10：00～12：00 無料（※要申込） 洞窟の生き物を観察しよう					
	2/7 10：00～16：30 無料 くまもとキッズミュージアムin御船					

県北

施設名	展示			イベント		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
⑥ 坂本善三美術館 阿蘇郡小国町黒淵2877 ☎0967-46-5732 開館時間／9：00～17：00（入館は16：30まで） 休館日／月曜日（祝日の場合はその翌平日） 年末年始、展示替え臨時休館 入館料／一般500円、高校・大学生400円 小・中学生200円	10/4～11/30 「小さな国十月」参加企画 「日々。」 入館料のみ 12/6～3/1 善三美術館のコレクションたち —善三と響きあう 入館料のみ 3/7～5/24 善三美術館のコレクションたち —この場所で描く、この場所を描く					
⑦ 玉名市立歴史博物館 こころピア 玉名市岩崎117 ☎0968-74-3989 開館時間／9：00～17：00 （入館は16：30まで） 休館日／月曜日（祝日の場合はその翌平日） 祝日の翌日（その日が日曜日の時を除く） 年末年始 入館料／一般300円、大学生200円 高校生以下無料	10/18～2/8 特集展示「昭和のくらし展」 入館料のみ 2/21～5/10 特集展示「金栗四三展」 10/11 19：00～21：00 無料 星空観察会 11/3 9：00～16：00 無料 文化の日たんけん！博物館 3/7 13：30～16：30 無料 西南戦争戦跡めぐり					

県南

施設名	展示			イベント		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
① 八代市立博物館 未来の森ミュージアム 八代市西松江城町12-35 ☎0965-34-5555 ※改修工事のため 令和8年3月末（予定）まで長期休暇中	8/19～10/5 出張企画展示「昔のくらしと道具」展 （会場：八代市お祭りでんでん館伝承ルーム） 無料 10/13 10：00～11：00 無料 やつしろ文化財講座第4回 「坂本町の民俗芸能とくらし」 （会場：八代市お祭りでんでん館会議棟） 11/15 10：00～11：30 無料（要事前申込 市図書館0965-32-3385） 学芸員のこだわり八代学@市立図書館第5回 「民俗って何だろう？—身近な民俗を 見つけよう！」（会場：八代市立図書館本館） 12/14 10：00～11：00 無料 やつしろ文化財講座第5回 「資料が語る戦国時代から江戸時代に かけての港町八代の繁栄」					

展示・イベントのご案内

県南	展示			イベント			
施設名	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
② つなぎ美術館 葦北郡津奈木町岩城494 ☎0966-61-2222 開館時間／10：00～17：00 (最終入館は16：30) 休館日／水曜日（祝日の場合はその翌平日） 年末年始 入館料／一般500円、高校・大学生400円 小・中学生300円 	9/6～11/24		入館料のみ				
	田辺恭一 あの頃の風景						
	9/6～11/24		無料				
	岡本光博つなぎプロジェクト成果展2025						
	岡本光博 イメージを突き返す						
		12/6～2/23					
		入館料のみ		アーティスト・イン・レジデンスつなぎ2025成果展			
				おたまの中の水はどのくらい？			
				走路草農藝團（陳漢聲&劉星佑）デュアル個展			
		3/7～4/12		境野一之		抽象世界へのいざない	
		入館料のみ		コレクション展			
		3/7～4/12		境野一之		ヨーロッパの風景画	
		無料		コレクション展			
③ 天草市立 本渡歴史民俗資料館 天草市今釜新町3706 ☎0969-23-5353 開館時間／8：30～17：00（最終入館は16：30） 休館日／月曜日（祝日の場合はその翌平日） 年末年始 入館料/無料 	11/1～2/28					無料	
	昭和100年 天草の交通史						
④ 天草キリシタン館 天草市船之尾町19-52 ☎0969-22-3845 開館時間／9：00～17：00（最終入館は16：30） 休館日／火曜日（祝日の場合はその翌平日） 年末年始(12/30～1/1) 入館料／一般300円、高校生200円 小・中学生150円 	8/1～10/20		入館料のみ				
	企画展「ヨーロッパが見た恵みの島・AMACUSA・」						
			11/1～11/7、3/1～3/7				
			「天草四郎陣中旗」特別公開展示		入館料のみ		
⑤ 天草コレジヨ館 天草市河浦町白木河内175-13 ☎0969-76-0388 開館時間／9：00～17：00（最終入館は16：30） 休館日／木曜日（祝日の場合はその翌平日） 年末年始(12/30～1/1) 入館料／一般300円、高校生200円 小・中学生150円 	8/1～10/20						
	天正遣欧使節・ローマ教皇謁見440周年記念企画展						
	「日本とヨーロッパの架け橋～黄金の国（ジパング）の少年たち～」					入館料のみ	

施設名	展示			イベント		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
⑥ 天草市立 御所浦恐竜の島博物館 天草市御所浦町御所浦4310-5 ☎0969-67-2325 開館時間／9：00～17：00（最終入館は16：30） 休館日／月曜日（祝日の場合はその翌平日） 年末年始 入館料／一般500円、高校・大学生300円 小・中学生200円	9/20～12/14 恐竜の王者ティラノサウルスの進化			一般：1,000円 高校・大学生：600円 小・中学生：400円 幼児無料		
⑦ 上天草市歴史資料館 上天草市大矢野町中977-5 ☎0964-56-3363 開館時間／9：00～17：00（最終入館は16：30） 休館日／月曜日（祝日の場合はその翌平日） 年末年始、毎月末日 入館料／無料	8月中旬～2月中旬 令和7年度前期連携展示			無料		
	10月初旬～12月末 令和7年度第2回企画展示			無料		
				1月初旬～3月末 令和7年度第3回企画展示		
				2月中旬～8月中旬 令和7年度後期連携展示		
⑧ 芦北町立星野富弘美術館 葦北郡芦北町大字湯浦1439-2 ☎0966-86-1600 開館時間／9：00～17：00 休館日／第2・第4月曜日 （祝日の場合はその翌平日） 年末年始 入館料／一般500円、小・中学生300円	入館料のみ			12/11～3/8 特別展「あなたへの葉書」		
	入館料のみ			3/10～4/26 第19回星野富弘美術館詩画公募展入賞作品展		

くまもとミュージアムMAP



新幹線
在来線
高速道路

県央

- ① 熊本県立美術館
- ② くまもと文学・歴史館
- ③ 熊本博物館
- ④ 熊本市現代美術館
- ⑤ 肥後の里山ギャラリー
- ⑥ 新聞博物館
- ⑦ 熊本国際民藝館
- ⑧ 熊本市田原坂西南戦争資料館
- ⑨ 島田美術館
- ⑩ 益城町交流情報センターミナテラス
- ⑪ 御船町恐竜博物館
- ⑫ 清和文楽館

- ⑬ 宇城市不知火美術館
- ⑭ 熊本県博物館ネットワークセンター

県北

- ① 熊本県立装飾古墳館
- ② 山鹿市立博物館
- ③ まちかど資料館（わいふ一番館）
- ④ 合志市歴史資料館
- ⑤ 菊陽町図書館
- ⑥ 坂本善三美術館
- ⑦ 玉名市立歴史博物館ころもピア
- A 熊本藤間生大「希望の歴史学」記念館

県南

- ① 八代市立博物館
未来の森ミュージアム
- ② つなぎ美術館
- ③ 天草市立本渡歴史民俗資料館
- ④ 天草キリシタン館
- ⑤ 天草コレジヨ館
- ⑥ 天草市立御所浦恐竜の島博物館
- ⑦ 上天草市歴史資料館
- ⑧ 芦北町星野富弘美術館
- B 人吉城歴史館
- C 湯前まんが美術館

発行／熊本県博物館ネットワークセンター（ISIL JP-2004104）

〒869-0524 熊本県宇城市松橋町豊福1695
TEL：0964-34-3301 FAX：0964-64-3302

○記載事項は2025年9月時点で各館から提供された情報に基づいています。
○休館日は、掲載されたものの以外に、年末年始や展示替え期間などの休館があります。
○料金は、企画展、特別展が別料金の場合があります。
○その他、詳しくは各館のホームページ等をご参照ください。